



西洋経済史A(坂出)

第5講 ジェントルマン資本主義論

2004年5月14日

1



前回のテーマ

- テーマ「資本主義の起点は都市か農村か？」
 1. 大塚久雄のマニュファクチュア論
 2. 堀江英一のマニュファクチュア論
 3. サフォークにおける農村織物都市の成立と展開
 - 牧羊業者→「富裕な織元」 →ロンドン市場
 - 「中産の織元」
- この関係はどうなっているのか？
→「ジェントリ」階層の分析

2

● ● ● | 本日のテーマ

- テーマ「『ジェントルマン』とは誰か？」
- 演習問題「ジェントルマン階層を定義し、彼らがイギリス革命に果たした役割を論ぜよ」
- 1 トーニー×トレヴァー・ローパー論争
- 2 イギリス革命における土地問題
- 3 ケイン・ホプキンスのジェントルマン資本主義論

3

● ● ● | 【1】トーニー×トレヴァー・ローパー論争

1. 「ジェントルマン」とは誰か？
2. トーニー「ジェントルマンの勃興」
3. トレヴァー・ローパーのトーニー批判

4

【2】イギリス革命における土地問題

1. イギリス革命は「上から」か「下から」か？
2. イギリス革命における二つの綱領
 1. 汎議会派の綱領：地主的綱領
 2. 水平派綱領：農民的綱領
 3. 水平派の蜂起の敗北→独立派勝利

5

【3】ケイン・ホプキンスのジェントルマン資本主義論

1. ケイン・ホプキンスのジェントルマン資本主義論
2. 利害分析

6

●●● | 小括と以降のテーマ

- 16世紀の「ジェントリの勃興」→ピューリタン革命(1649:「ブルジョア的土地変革」と名誉革命(1688:「ジェントルマン秩序」確立)を通じて形成された「ジェントルマン資本主義」(地主と金融資本家の同盟)→大英帝国の膨張
- 製造業利害と「ジェントルマン資本主義」の基本的関係はどのようなであったか？
- 綿業王カークライト(1785年力織機発明)の軌跡をたどる過程で考察(次週)
- 選挙法改正(1832年以降)と穀物法撤廃(1846年)の分析(講義第3部)

7

●●● | 次回のテーマ

- 綿業王カークライト(1785年力織機発明)の軌跡5月21日:第6講 綿工業と機械制大工業
- 大塚久雄『欧州経済史』2章2
- 堀江英一『経済史入門』7章1A B 10章1A
- 演習問題「なぜ18世紀後半には綿工業が毛織物工業を急速に追い抜いたのか？」

8

【イギリス革命関連年表】

王党派×議会議派（長老派・独立派・水平派）

（1）ピューリタン革命(1642-49)

- 1642-47 第一次内乱
 王党派×議会議派→議会議派の勝利
 議会議派内の分裂（長老派×独立派・独立派×水平派）
- 1648 第二次内乱
 独立派：王党派と妥協的な長老派を議会議派から追放
- 1649 クロムウェル（独立派）：チャールズ1世処刑（王政廃止）

（2）共和政期(1649-1660)

- 1649年3月～9月 水平派の蜂起の敗北と独立派による弾圧→独立派独裁の確立
- 1658 クロムウェル死去
 長老派：勢力回復し、王党派と妥協
- 1660 王政復古（チャールズ2世：王党派・長老派連携）

（3）名誉革命(1660-1689)

- チャールズ2世 カトリック復活・絶対主義復活の動き
 ↓
 議会議派：チャールズ2世廃位
- 1689 メアリ2世・ウィリアム3世の即位
 議会議派提出の権利の宣言（王権に対する議会議派の優位）承認

※須藤良『世界史地誌整理日欧米編』駿台文庫、1995年を参考にしました。

ジェントルマン秩序における諸経済グループ

収入形態	サブグループ	社会階層	地域
土地利害 地代	非改革地主		
	改革地主	ジェントルマン的結合	
資本利害 利潤：利子	金融資本家	ジェントルマン的結合	南東部
	産業利潤 製造業資本家	×	北部（地方）
	農業資本家		
労働利害 労賃	農業労働者		
	製造業労働者		